

## 令和6年11月教育委員会定例会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和6年11月11日（月）  
開会：午前10時 閉会：午前10時55分
- 2 開催場所 災害対策本部室
- 3 会議次第  
○10月定例会議事録承認  
○教育長報告  
○議案第26号 大津市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- 4 出席委員  
島崎教育長、田村委員、周防委員、大西委員、関委員
- 5 事務局出席者  
清水教育部長、鮫島教育部次長、杉江教育部次長、青山教育総務課長、中川同課長補佐、藤井同課企画総務係長、佐藤同課主任、北同課主事、藤橋教職員室長、東谷同室次長、上杉学校教育課長、南出同課長補佐、藤原学校給食課長、川瀬生涯学習課長、大南幼保支援課長、河井幼児教育指導監
- 6 会議を傍聴した者  
(1) 一般傍聴者 0人 (2) 市政記者等の傍聴者 0人
- 7 議事の経過 別紙のとおり

(議事の経過)

開会 教育長が11月定例会の開会を宣言

議題の公開／非公開 全て公開

10月定例会議事録承認 承認

教育長報告

○議案第26号 大津市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について

【説明】

○上杉学校教育課長 本規則改正は、子ども理解や学習準備、園児・児童生徒の安心安全な入学・入園、進学のための新年度準備を円滑に行うことを目的として、令和7年度から学年始休業日を1日延長するものである。

規則第3条において学年始休業日を4月1日から4月7日までと規定しているところ、4月1日から4月8日までに改める。

学校では、年度始めの業務について、実質的には平日の5日間の作業となる。この間に、新年度の学校教育目標の確認や教育活動の策定、組織体制の決定、児童生徒の状況把握、入学式準備等の重要性の高い業務を行っている。各学校においては、業務の精選や効率的な会議運営に取り組んできたところであるが、必要な業務に対しての時間確保に限界が生じている現状がある。大津市立小中学校働き方改革推進委員会からも、この点について意見があった。4月については、小学校、中学校ともに教職員の超過勤務が年平均よりも多くなっている。

年度始めの業務の状況であるが、児童生徒の状況把握については、家庭状況や友人関係、アレルギーやてんかん等も含めた健康面、特別支援に係る引継ぎ等、必要な事項が以前よりも多くなっていると感じている。また、小学校入学に関しては、民間の保育園・こども園の増加により引継ぎの対象園が増加している。

ここ数年、新規採用者は約70人で推移しており、他市町からの異動者は年度により上下はあるものの令和6年度は74人で、次年度も同程度が見込まれている。毎年70人程度の新規採用者がいることで、経験の浅い教員の割合が増加しており、引継ぎに必要な時間も増加の傾向にあると捉えている。

年度始めの期間に、新規採用者及び他市町からの異動者に本市の教育、学校運営等について理解していただく研修はもちろんのこと、本市の教育方針を伝える校園長会議、4月にある事業の説明会等を、しっかりと行う必要があると思っている。

他市町の状況であるが、県内ではいくつかの市町が4月9日又は10日を始業日としており、隣接する京都市においては、小学校の始業日を4月10日としている。

始業日を遅らせることでの授業時数への影響についてであるが、小学校においては標準時数を上回る計画を立てており、影響はない。中学校においては、小学校に比べて余剰時数は少ないが、夏季休業期間に授業日を設けて時数を十分に確保している学校が多く、年間の中で調整は可能であると考えている。

休業日を延長することによる子どもの居場所、学習支援については、特に小学校において、学校運営協議会による支援、児童クラブへの学校施設利用の協力、学校図書館開放等により、配慮していきたい。本市児童クラブ課との連携はこれまでから行っているところであるが、議決をいただければ民間の児童クラブ等への周知と依頼を行っていく。

保護者への周知については、教育委員会名で文書を発出する。

総括すると、始業日を1日遅らせるに当たっては、次の4点到意する。

- ・創出された時間により、子どもの状況把握、学習準備を充実させる。
- ・授業時数の適切な管理を行う。
- ・子育て支援や福祉的な側面等、「子どもの育ち」全体を鑑み、可能な対応・支援を行う。

- ・保護者や地域、関係機関等への丁寧な説明を行う。

### 【質 疑】

- 周防委員 4月の教職員の超過勤務の話があったが、始業日までにある第1週の土日の出勤状況はどうなっているか。
- 藤橋教職員室長 データは持ち合わせていないが、4月1週目の土日については、管理職と教務主任は出勤している者が多い印象で、特に、月曜が始業式・入学式である場合のその前日、前々日の土日は出勤している可能性が非常に高い。
- 周防委員 始業日を1日遅らせれば、土日の出勤率が下がったり、教員の負担が減ったり、ということも含めての改正という理解でよいか。
- 上杉学校教育課長 そうである。
- 関委員 業務の精選、効率的な業務遂行に努めているが時間確保に限界が生じている、とのことだが、どのような取組をされてきたのか。また、時間の確保ができないというのは、児童生徒の状況把握ができないという見解か。
- 上杉学校教育課長 例えば、1つ会議を行うだけでなく、人を分けて2つの会議を同時刻に行うことや、会議をするメンバーを最小限にすること、一斉に事務作業を行う時間を確実に設けること、などが挙げられる。  
児童生徒の理解の部分については、引継ぎ作業としての時間はあっても、その引き継がれたものをじっくり確認するというような時間を確保することが難しくなっていると感じている。
- 大西委員 留意点の最後に保護者や地域、関係機関等への丁寧な説明を行う、とあるが、学校や教員へも、1日始業日を遅らせる意図を丁寧に説明するようお願いしたい。
- 田村委員 幼稚園の入園も1日遅れることになるが、幼稚園の入園者が減っている中で、幼稚園と保育園の選択をする保護者への影響はないか。  
また、他市町の状況をみると始業式の翌日に入学式をしているところはいくつかあるが、大津市においては同一日としている理由を教えてください。
- 大南幼保支援課長 幼稚園の入園が1日遅れることによる園選択への影響については、ないと予測している。
- 上杉学校教育課長 現状4月7日までが休業日であり、始業式も入学式も8日に行っているということで、特段の深い意図まではないと思っているが、特に小規模の学校においては、全ての教員が前日に入学式準備に当たらなければ作業を終えることができない場合もあり、他の学年が全員登校している始業式の日に入学者の準備を行うのは難しい現状がある。
- 関委員 始業までの期間が1日長くなったことで、会議や他の作業の時間が伸びてしまって本来確保してほしい時間が確保できない、ということがないように、仕組みを作る等の対応をしてほしいと思う。
- 上杉学校教育課長 先程の大西委員の発言にもあったが、子どもたちの入学、進学準備をしっかりと、子どもたちのことをしっかりと理解するための1日分であるということ、学校や教員には十分説明していきたいと思っている。

### 【採 決】 可決

閉会 教育長が11月定例会の閉会を宣言